

お知らせ  
「太陽光発電研究センターの廃止について」

産総研の太陽光発電研究センターは本年3月末をもって廃止されることとなりました。

当研究センターの前身である第1期の太陽光発電研究センターは2004年4月に、それまで産総研内の様々な研究ユニットで太陽光発電に関する研究を行なっていた複数のグループ・研究者を集結して設立されました。研究センターが時限的組織であることからこれまで二度の組織再編を経ましたが、16年間の長きにわたって研究センターとして太陽光発電に関する研究開発に取り組んでまいりました。

この度、ミッションを太陽光発電技術開発だけに絞った研究センターは無くなりますが、太陽光発電の重要性がなくなった訳ではなく、それどころか地球温暖化対策の担い手としてより大きな期待が寄せられているところであり、今回の研究センター廃止により産総研が太陽光発電技術の研究開発をやめるものではありません。産総研では今後も、再生可能エネルギー研究センターや省エネルギー研究部門、本年1月に設立されたゼロエミッション国際共同研究センター等において、より広い研究スコープの中で太陽光発電技術の研究開発に取り組んでまいります。研究グループ・メンバーは複数の研究ユニットに分散しますが、2004年以前の状況に戻るのではなく、それぞれの場所で新しい知を取り入れつつ、16年の間に培った協力関係を生かし、連携を密にして研究を実施してまいります。

これまで様々な形でお世話になった方々にはお礼を申し上げますとともに、今後とも弊所の太陽光発電研究開発に対し変わらぬご指導・ご鞭撻をいただけますようよろしくお願いいたします。

令和2年3月  
太陽光発電研究センター  
研究センター長 松原浩司